

自己評価および外部評価結果

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
I. 理念に基づく運営					
1	(1)	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	お一人おひとりがその人らしく生活が出来るように法人理念を共有し、管理者、職員全員で御利用者様の対応を行っている。	法人共通の基本理念のもとにご利用者がその人らしく生き生きと生活できるようにしています。理念は事務所や職員用トイレにも掲示し、管理者会議時に目標を検討するなどして職員に理念を浸透させています。	
2	(2)	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	感染症拡大防止の為、ボランティア来所や運営推進会議の為に地域代表の参加を中止とした。感染症が落ち着いたら、地域の方々との交流を開催したいと思っている。	今年度は新型コロナウイルスの影響で自粛していますが、例年では歌や踊りのボランティアの方に定期的に来ていただいたり、地域の祭りの際には神楽が来てくれて、ふれあいの機会を持つなど、地域との交流を行っています。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	事業所での認知症の人の理解や支援の方法をお話する機会は設けてはいない。感染症拡大防止の為、見学等の来所は自粛していたが、電話での助言は行っている。		
4	(3)	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	感染症拡大防止の為、本年度の運営推進会議は文章にての開催となり、ヒヤリハット、行事内容を報告し、ご意見書を同封し、委員の方々から意見やアドバイスをいただいている。	今年度は新型コロナウイルスの影響で書面送付としていますが、市の担当者、地域包括支援センター職員、協力施設の特養の施設長、隣接するデイサービスの管理者、地域住民等からご意見を頂いています。委員へ事業所の状況報告を行い、頂いたご意見はしっかり受け止めて、サービスの向上に繋げるようにしています。	
5	(4)	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる	毎月の入退居状況、待機者を市の担当者に報告している。又、事故発生時も都度報告を行っている。	市の担当者、地域包括支援センター職員には運営推進会議でもアドバイスをいただいているほか、入退居状況を月に一回必ず市の担当者に現状報告に伺っています。	
6	(5)	○身体拘束をしないケアの実践 代表者および全ての職員が「介護指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	施錠は夜間のみ行っており、日中は自由に行き来出来る環境を作っていた。又、身体拘束となる介護を各自、周知していた。	法人にて身体拘束廃止委員会での検討や、身体拘束についての研修を行い周知徹底をしているほか、玄関の施錠も夜間のみとするなど、身体拘束をしないケアを実践しています。	

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
7	(5-2)	○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	コロナウイルス感染予防の為、外部研修や法人研修は出来ていなかったが、施設内で虐待について話し合いユニット会議で、自分達の介護を見直す機会を都度設けていた。	事業所にて虐待防止についての研修を行い周知徹底しており、職員の言葉遣い等も気になる点があれば職員同士で注意しあい、虐待の防止に努めています。	
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	成年後見人制度や生活保護制度を熟知していない職員もいる為、研修は出来ないが説明出来る職員が伝えていくといった学ぶ機会を設け、知識の向上に努めていた。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	契約時は、管理者が丁寧に対応を行っている。質問やご家族様、ご利用者様の不安な事柄を伺い、分かりやすいように説明を行い、理解を頂いている。		
10	(6)	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	運営推進会議をはじめ、常にご利用者様、ご家族様からの意見があった際には全職員が周知するよう努めた。又、運営推進会議の記録は常に玄関に設置しており、自由に閲覧できるようになっている。	ご家族の要望については運営推進会議の場だけでなく、面会時や電話連絡の際などに気付いたことや要望は無いか確認しています。	
11	(7)	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	毎月のリーダー会議やユニット会議で、話し合いの場を設け職員の意見をよく聞き運営に反映している。都度、理事長にも意見を伝えている。	毎月のユニット会議やリーダー会議にて職員と話し合う場を設けているほか、状況に応じた管理者と職員との個別面談の機会も設けており、職員の要望に応えられるように努めています。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	職員が取得している資格を給与に反映している。向上心を持って業務が出来るよう職場環境がより良くなるように努めている。		
13		○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	職員がレベルアップやスキルアップできるよう内部研修を行ったり外部研修に参加できる機会を作っている。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	外部の研修へ行くことで交流する機会を設けたり、意見を聞きサービスの質の向上に努めている。		
II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスを導入する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	入居前、入居後共に本人の要望を聞く。特に不安や困っていること等を聞いて、少しでも取り除けるように耳を傾け、関係作りに努めている。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスを導入する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	本人様同様にご家族様の不安や要望を聞いて、入居後どのように暮らして頂きたいか、要望に沿ったプラン説明を行っている。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスを導入する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	今の本人様の状態、状況、ご家族様にとって必要とされている支援を見極め、様々なサービスを検討しながら最適な支援が出来るよう努めている。		
18		○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	出来る事、得意な事を見つけたり聞いたりして、その人らしく過ごせるよう支援している。職員とも馴染みの関係が築けるように努めている。		
19	(7-2)	○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	昔から付き合いのある方や集まりなどと、切れないように家族と相談しながら支援していく。	定期的に事業所の広報を作成しお送りしているほか、各担当者及び計画作成担当者より毎月ご利用者の生活の様子をまとめたお手紙も作成しお送りしています。また、面会時などは話を伺い、サービス担当者会議にはご家族にも参加していただけるようにし、協力関係を構築しています。	
20	(8)	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	宗教信仰のある方には、馴染みの方達と一緒に集会に参加して頂き、これまでの関係が途切れないよう、ご家族と相談し、支援に努めている。	今年度は新型コロナウイルスの影響で自粛していますが、ご家族にも協力していただき面会に来ていただいたり、知り合いの方にも面会に来て頂くなどし、馴染みの関係が継続できるように努めています。	

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	ご利用者様同士が楽しく良好な関係を築いて頂けるよう、お一人おひとりの性格やその日の状態を把握し、職員が一緒になり関りが持てるように支援している。		
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	退居された後でも相談がある場合は支援、協力させて頂くことをお伝えしている。		
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	(9)	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	今までの暮らし方を継続して頂けるよう要望をお聞きしながら職員の間で把握し検討している。	ご利用者お一人お一人と接する中で確認できた意向は生活記録に記録し、全職員が把握できるようにしています。また、共有した情報をもとにその都度対応を話し合い、必要時は個別支援を行うなどご本人の意向に沿えるよう努力しています。	
24	(9-2)	○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	ご家族様から情報をお聞きしている。入居されてからは、面会時に些細な情報も共通するよう努めている。	お一人お一人と話をすることで得た情報や、ご家族からの話をもとにフェイスシートに記録し、ご利用者の情報を把握しています。また、6ヶ月に1度のカンファレンス時には定期的に情報の見直しをしています。	
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	日々の様子は、個々の生活記録に細かく記録している。また、その状態を職員間で把握するように努めている。		
26	(10)	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	ご本人様がよりよく暮らす為には、どうしたら良いのかを考えながら実行し、モニタリングやアセスメントを行っている。また、ご家族様とカンファレンスをし、意見や要望などをふまえて介護計画をたてるよう努めている。	モニタリングは毎月担当職員が実施し、6ヶ月に1回のペースでカンファレンスを行い、定期的に介護計画の見直しも行っています。カンファレンスにはご家族にも参加して頂き、管理者、計画作成担当者、担当職員と話し合いの場を設け、意向に沿った介護計画が作成できるように努めています。	調査時点で介護計画書の日付が間違っていたり、ご家族へのモニタリングの説明が遅れている方もいましたので、今後改善されることを期待します。
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	毎日、サービス内容に沿って、実施状況を生活記録に記入している。その記録を元に半年に一回とプランの見直し時期にモニタリングで評価を行っている。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	ご本人の状態に合わせて福祉タクシーをすすめている。急な受診があった時などは、ご家族様の状況に応じて職員が代行している。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	畑に野菜や果物を植え、育つ様子を見て楽しんで料理に使用したりと季節を感じて頂いている		
30	(11)	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	入居前からのかかりつけ医にご家族様から受診にお連れ頂いているが、受診が難しい方は往診を依頼している方もおられる。状態によっては、医師に手紙を書いて受診時、ご家族様へ渡し伝えている。	基本的に定期受診はご家族にお願いし、かかりつけ医に診ていただいています。往診にも来て頂いているほか、必要に応じてご利用者の状態を職員がお手紙にまとめご家族に渡したり、直接医師に電話をしたり、職員が同行するなどして受診支援を行なっています。	
31		○看護職との協働 介護職は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	状態の変化など記録に残し、看護師の出勤時に指示を受けている。また、緊急時など判断に迷う時は連絡を入れ指示を仰ぎ対応している。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、又、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	入院した際には、管理者が病院関係者と連絡を取り合い現状や今後の対応について等、情報交換を行っている。		
33	(12)	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	重度化した場合や終末期のあり方については、早い段階から本人、家族と話し合い共有している。医師や看護師が常駐していない為、状況によっては地域関係者と連絡を取り合いできる範囲の介護に努めたいと思っている。	ご利用者の状態に合わせて重度化した場合や看取りの対応に関するホームの考え方を説明し、ご本人の意向やご家族の意向をお聞きし、医療的なケアが必要であればできる限りはホームで支援したいと考えています。	

自己	外部	項目	外部評価		
			自己評価 実践状況	実践状況 次のステップに向けて期待したい内容	
34	(12-2)	○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	ご利用者様の急変時や事故発生時に全ての職員が対応出来る様に内部研修を行っている。事故が発生した際は、会議で話し合い改善策を検討している。AED講習会は毎年、消防の方から指導を受けている。	看護師から誤嚥や嘔吐の対応や感染症について研修を行ってもらっているほか、消防署の職員にも来て頂き、AEDの操作研修や心肺蘇生法の講習なども実施しており、職員が緊急時に適切な初期対応ができるよう努めています。	
35	(13)	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	日中、夜間と年二回消防署立ち合いのもと、火災を想定とした避難訓練を行う事になっているが、今年度は、感染症拡大防止の為、文章を事前に消防に提出し、施設内で避難訓練を行った。通報訓練は消防の立ち合いのもと行った。	年に2回消防署立ち合いのもと日中・夜間の火災を想定した避難訓練を行っています。ホームでは災害時に備えた非常用の食品や水も確保されています。	
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	(14)	○一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	ご利用者様の性格などを考慮しながら声掛けや対応をしている。意志疎通が難しい方は、表情や仕草などから読み取るようにしている。	契約の際に広報誌やホームページに写真・名前を載せることをご家族に確認を得ています。また、管理者が気づいた際には職員の言葉の使い方等も徹底するなど、ご利用者のプライバシーを損ねない支援に努めています。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	ご利用者様と関わりを持ち思っている事やしたい事を言いやすいような雰囲気にしていく。表現が出来ない方は、言動や様子から想いを探っている。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	ご利用者様のペースに合わせて生活のリズムが崩れないように、ご本人の希望通りになるように職員の間でも声を掛け合い努力している。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	季節に応じた洋服を準備し、着替え等お手伝いさせて頂いている。身だしなみが難しい方には、職員がお手伝いしている。		
40	(15)	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	テーブル拭きや野菜の下処理など家事作業のできる方には手伝いをして頂いている。「何かしましょうか」と御利用者から声を掛けて下さる事もある。	食事の準備・片付けができるご利用者には協力していただき、ご利用者と一緒に行っています。季節に合わせたメニューも提供し、ご利用者に食事を楽しんでいただけるように努めています。	

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	食事量や水分量はチェック表に残し、食べにくそうにされている方にはお粥や細かく刻んで提供している。ムセがある時には水分にとろみをつけており個々に合った形態で食事の提供をしている。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食後、口腔ケアの声掛けを行い、必要に応じて義歯を洗ったりと手伝いをさせて頂いている。又、週2回の義歯の消毒と月1回の歯ブラシの交換を行っている。		
43	(16)	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	定時のトイレ誘導や一人ひとりに合ったトイレの声掛けを行っている。排泄のパターンや習慣を職員間で把握共に有し、トイレでの排泄で失敗がなくなるよう支援している。	新入所から一定期間は排泄パターンを把握するため、チェックを行っています。また、必要な方には排泄チェックも行っているほか、リハビリパンツを使用されている方でも、定期的なトイレ誘導を行い、失敗の無いよう支援しています。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	食事やおやつの際にお茶を提供し、その他にも一人ひとりの好みに合わせ水分を摂ってもらっている。毎日、ラジオ体操を行い、散歩やレクリエーションに誘う等、運動ができる支援を行っている。定期的な排便が無い方は、かかりつけ医の指示の元下剤を服用している。		
45	(17)	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々にそった支援をしている	一人ひとりの希望をなるべく優先し、体調に配慮しながら入浴してもらっている。拒否がある方も時間を空けて再度声掛けを行う等、個々のタイミングに合わせて入浴してもらっている。浴槽に入る事が難しくなった方はシャワー浴にて十分に温まってもらう。また、清拭を行う事もある。	入浴予定を立て、同性介助への要望にもお応えし、ご利用者に入浴を楽しんで頂けるようにしています。また、入浴を嫌がるご利用者にもうまくタイミングを見計らい声をかけ、入浴して頂いています。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	夜間は眠れるよう、日中はラジオ体操で体を動かすレクリエーション等の運動を行い、できる範囲の家事作業をして頂く。夜間眠れない時は話を傾聴し、安心して休めるよう努めている。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	薬が変わりなくても処方された際は毎回確認を行っている。薬の服薬時は口腔内に薬が残っていないか必ず確認している。症状の変化は記録に残し職員間で共有する。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	ご家族様より生活歴をお聞きした事をふまえ、その方に合った支援方法を検討している。お一人おひとりが楽しめる事を提供したり気分転換が自然に行えるよう対応している。		
49	(18)	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。又、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	天気の良い日には近くを散歩して頂き戸外に出掛けられるような環境を作っている。感染症拡大防止の為、個別でのドライブや受診時に家族と短時間の外出もお願いして頂いた。	今年度は新型コロナウイルスの影響で自粛していますが、散歩やスーパーへの買い物にお誘いし外に出られる環境を作っているほか、季節に合わせてお花見やあじさい見学に出かけるなどの外出支援も行っています。	
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	個人のお金は施設の金庫で管理させて頂いている。買い物が発生した際はおこづかい帳を用意し記入をしている。支払いの出来そうな方には、買い物時に支払いをお願いしている。		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	ご家族様からの電話の際にはお話しして頂いている。本人から家族への電話希望も随時対応している。手紙が届いた際には本人と一緒に確認して頂き、お渡ししている。		
52	(19)	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	全ての共用場所は、清潔に保つよう掃除・除菌を徹底し、定期的に換気を行い感染症防止に努めている。また、季節を感じて頂けるよう、カレンダーの掲示や壁等の装飾に工夫している。なお、不快な環境にならないように、室内の温度、テレビの音量、照明等のご利用者様に決定して頂きながら調節している。	居間には雛人形などの季節の飾りを作ったり、外出時のスナップ写真を掲示したり、手作りのカレンダーを配置して季節がわかる様工夫しています。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	ご利用者様の性格や要望、また、歩行器等の介護用品が使いやすい環境に配慮し、テーブル席を配置している。なお、気の合うご利用者様同士、又は独りで過ごせる空間として、食席と離れた場所に、畳コーナーを設けソファを設置して自由に過ごせるように配慮している。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
54	(20)	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	危険が無いように配慮し、ご自宅で使用されていた家具、又は思い出の品、写真等をご本人、ご家庭に確認しながら居室に設置し、安心して過ごせるように配置を行っている。また、身体状況に応じて、居室をトイレ等、近い位置に設けている。	自宅で使われていた化粧台やラジオなど、居室にはなるべく自宅から使い慣れた物を持ってきていただくように声掛けしており、居室毎にご利用者の個性が出るよう工夫をしています。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	生活空間は全てバリアフリーで、手すりを設置し、ホーム内は安全に歩行できるようになっている。また、居室やトイレ等各部屋の表札を掲示し混乱しないように配慮している。なお、日常では洗濯物をたたんで頂いたり、食事後の片付け等、無理なくご自分で出来ることを行っている。また、整容を積極的に行えるように居室に鏡を設置している。		

V. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目No.1～55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項目		取り組みの成果 ↓該当するものに○印		項目		取り組みの成果 ↓該当する項目に○印	
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目:23,24,25)	1. ほぼ全ての利用者の		63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている (参考項目:9,10,19)	1. ほぼ全ての家族と	
		2. 利用者の2/3くらいの				2. 家族の2/3くらいと	
		3. 利用者の1/3くらいの				3. 家族の1/3くらいと	
		4. ほとんど掴んでいない				4. ほとんどできていない	
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目:18,38)	1. 毎日ある		64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2,20)	1. ほぼ毎日のように	
		2. 数日に1回程度ある				2. 数日に1回程度	
		3. たまにある				3. たまに	
		4. ほとんどない				4. ほとんどない	
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38)	1. ほぼ全ての利用者が		65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:4)	1. 大いに増えている	
		2. 利用者の2/3くらいが				2. 少しずつ増えている	
		3. 利用者の1/3くらいが				3. あまり増えていない	
		4. ほとんどいない				4. 全くいない	
59	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている (参考項目:36,37)	1. ほぼ全ての利用者が		66	職員は、生き活きと働けている (参考項目:11,12)	1. ほぼ全ての職員が	
		2. 利用者の2/3くらいが				2. 職員の2/3くらいが	
		3. 利用者の1/3くらいが				3. 職員の1/3くらいが	
		4. ほとんどいない				4. ほとんどいない	
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:49)	1. ほぼ全ての利用者が		67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	1. ほぼ全ての利用者が	
		2. 利用者の2/3くらいが				2. 利用者の2/3くらいが	
		3. 利用者の1/3くらいが				3. 利用者の1/3くらいが	
		4. ほとんどいない				4. ほとんどいない	
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (参考項目:30,31)	1. ほぼ全ての利用者が		68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	1. ほぼ全ての家族等が	
		2. 利用者の2/3くらいが				2. 家族等の2/3くらいが	
		3. 利用者の1/3くらいが				3. 家族等の1/3くらいが	
		4. ほとんどいない				4. ほとんどできていない	
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている (参考項目:28)	1. ほぼ全ての利用者が					
		2. 利用者の2/3くらいが					
		3. 利用者の1/3くらいが					
		4. ほとんどいない					